

バーモントカップ 第21回全日本少年フットサル 大阪大会 大会実施要項

記

大会名称	バーモントカップ 第21回全日本少年フットサル 大阪大会
主催	財団法人 日本サッカー協会
主管	社団法人 大阪府サッカー協会
協力	一般財団法人 日本フットサル連盟・大阪府フットサル連盟
協賛	ハウス食品株式会社
日程・会場	1) グループリーグ・決勝ラウンド1回戦 2011年10月16日(日) なみはやドームメインアリーナ(門真市) 2) 準々決勝 2011年11月19日(土) 古曽部防災公園体育館(高槻市) 大阪市立千島体育館(大阪市大正区) 3) 準決勝 2011年11月26日(土) 大阪市立千島体育館(大阪市大正区) 4) 決勝 2011年11月27日(日) 大阪市立千島体育館(大阪市大正区)
参加資格	1) 財団法人日本サッカー協会の2011年度フットサル個人登録を行った、12歳未満の選手であること(但し、小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない)外国籍選手は4名まで登録可能。ピッチ内には2名まで。女子の参加を認める) 2) 財団法人日本サッカー協会の本大会登録を行うチームであること(大会登録用紙の提出による) 3) 大会登録できる選手数は最大20名とする。 4) スポーツ傷害保険に加入していること。 5) 成人で、チームおよびチーム関係者の行動を掌握できる、引率者がいること。 6) 大会に参加するにあたり、保護者(親権者)の承認を得ていること。 7) その他、体育館の使用規定、役員の指示に従うこと。
競技規則	2011年度日本サッカー協会制定の「フットサル競技規則」による。但し、登録された交代要員が、試合直前のメンバーチェックに遅れた場合は、その試合の前半に参加することはできない。なお、ハーフタイム中に審判のチェックを受けた場合は、後半から参加することができる。

参加チーム	24チーム
大会形式	<p>24チームを3チームずつ8グループに分け、総当りリーグ戦を行う。各グループの上位2位までが決勝ラウンドに進出することができる。グループリーグの順位決定 勝点数合計の多いチームを上位とする。</p> <p>勝点 勝：3、引分：1、負：0</p> <p>但し、勝点同数の場合、得失点差、総得点、当該チーム間の対戦結果、抽選の順序により順位を決定する。</p>
試合形式	<p>グループリーグ、決勝ラウンド1回戦：試合時間20分（前後半10）ランニングタイム（インターバル3分）</p> <p>準々決勝、準決勝、決勝：試合時間20分（前後半10分）プレーイングタイム（インターバル3分）</p> <p>同点の場合は、準決勝、決勝の場合は6分（前後半3分）の延長戦を行い、勝敗が決しない場合は5人ずつのPK戦を行う。</p> <p>準々決勝、準決勝、決勝においては、反則の累積を行う。また、前後半各一回ずつのタイムアウトをとることが出来る（グループリーグでは不可）。</p>
ユニフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は、大会登録表に登録されたFP、GK正・副の計4種類のユニフォームを各試合に必ず携行すること。また、各チームで、ユニフォーム（シャツ）の<u>正・副の色と明確に異なる色のピブス</u>をベンチ入りメンバー分用意すること。（MAX7枚） ・背番号は、1～20の通し番号が望ましい。 ・布貼りの場合は4辺を全て縫い付け、大会本部で許可を得たもののみ認められる（ユニフォームチェックの際に対象となる全てのユニフォームを持参すること）。 ・テーピングでの番号表記は認められない。 ・ユニフォームにポケットがある場合は、縫いつけること。 ・本大会登録票に記載されたものを原則とし、登録票を受理した後の変更は認めない。 ・試合中、GKが<u>負傷</u>し、他の選手の背番号が付いたGKと同じユニフォームのシャツが用意出来ない場合には、<u>相手FPと色の異なるその選手の背番号が付いた別のシャツ</u>を使用することが出来る。（但し、GKが<u>レッドカード</u>により退場となった場合は認められない。） ・ユニフォームの広告表示については、日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき、承認を得た場合のみこれを認める。この場合、大会当日に必ず<u>ユニフォーム広告掲示(回答)及び、申請書のコピー</u>を持参すること。

- その他注意点
- 1) シューズはフットサルシューズまたは体育館シューズで、底面がフラットで接地面が白、飴色または無色透明のものに限る。
(スパイクシューズ及び靴底に着色されたものは使用できない)
メーカーロゴなどのワンポイントが接地面にある場合も、飴色または白以外の色のワンポイントである場合使用を認めません。また、「ノンマーキング」やこれに類する記載があるシューズであっても、上記要件を満たさない場合は使用を認めません。事前にチームで十分な確認をお願い致します。
 - 2) マッチコーディネーションミーティングは当該試合開始予定時刻の30分前とする。メンバー表(および選手証)、FP、GK 共に2種類ずつ、合計4種類の登録されたユニフォームを持参すること。メンバー登録用紙のユニフォーム欄は空欄にしておくこと。
 - 3) 飲水については、各体育館の規定に従うこと。
 - 4) 体育館フロア内では、役員を含めて必ずシューズを履き、袖の無い服装は禁じる。
 - 5) ベンチに入ることのできる人数は、役員3名、選手7名までとし、責任ある態度で行動すること。ベンチに入る役員は登録表に登録された人のみである。ベンチ入りする役員は、マッチコーディネーションミーティングの時にADカードを受け取り、試合中はADカードを見えるように首から掛けておかなければならない。ADカードは試合終了後、すぐに本部に返却する。
 - 6) ゴミは各チームとも、責任を持って持ち帰ること。
本規定に違反したチームは、次年度以降の大会参加を認めない場合がある。
- 懲罰規定
- ・大会中に退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
 - ・役員が退席を命じられた場合、以後大会期間中のベンチ入りを禁止する。
 - ・大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- その他
- 1) 給水は指定の場所で行うこと(水以外厳禁)。
 - 2) 個人登録カード不携帯の選手は、当該試合への出場を認めない。
 - 3) 体育館ピッチ内以外でのボールを使用する練習は禁止する。
 - 4) 保護者等チーム関係者の違反に関しては、チーム責任者が責任を負うこと。
 - 5) その他不測の事態が生じた場合は、役員の指示に従うこと。
 - 6) ピッチ周辺での撮影は、一切認めておりません。
 - 7) 優勝チームは、来年行われる全国大会(1月4～6日東京都・駒沢体育館予定)へ出場する義務を有する。

以上